

ぼくの町の土砂災害対策

寺迫小学校

六年

辻本

爽祐

今年六月に、土砂災害防止教室が学校でありました。その教室で、見えてなかつたこと知らなかつたことがあると知りました。

ぼくの家の前には、大きな用水路がありま
す。普段は、何も流れていない用水路です。
雨がたくさん降ると、その用水路に水が流
てきます。大雨や台風時には、近くの川の
水はにぎり、木の枝などが流れてきます。

しかし、この用水路に流れる水は、そんな
時もありにぎっていかないし、木の枝などが
混ざっていないので、なぜだろうと思ってい
ました。

二月に父の手伝いで山に登ったことを思
い出しました。山の中に砂防ダムを見つけた
のです。

土砂災害防止教室では、砂防ダムは土石流
を防いでくれると教えてもらいました。上流
で、たくさん雨が降り、土や石が一気に、

No. 下流に流れないように防いでくれます。

ぼくの近所のおばあちゃんはまだ山の中に砂防ダムがない時に、おばあちゃんの家の畑にゴロゴロした石がたくさん入ってきたことがあったと話していました。このように砂防ダムで大きい石などが防げてとてもたのもしいです。けれど全て防げるとは言えないので、気をつけたいです。

No. 最近でも一日の雨量が一月分の雨量をこえたり、線状降水帯などの異常気象や台風の

えいきょうで雨がたくさん降ったりすることもあるので注意したいです。ぼくがいつも通りだと思っていた用水路に流れるきれいな水は、砂防ダムが見えないところでも土砂などを止めてくれているからということばかりでした。

ぼくの住んでいるところは、土石流警戒区域に指定されています。

土石流警戒区域とは、土石流の危険性がある家や公共施設に被害をもたらす可能性が

No. No.
あるところです。

砂防ダムと同じようにぼくはこの区域に指定されていることを知りませんでした。

調べてみると、ぼくの通学路にも危険箇所があることがわかりました。

ぼくは、登校班の班長なので雨の日や地震の時など下級生を安全に学校に行ったり家に帰れるようにしたいです。

自然災害はいつ起こるのかわからないので、いつきても大丈夫なようにハザードマップなどを使って危険な場所を知っておいて家族と話し合っていてひなん経路を確認したいです。

土砂災害を引き起こす原因は、雨です。日本は、世界の中でも雨が深い国なので雨の日やその次の日などは、気を付けて過ごすことが大切だと思いました。

他にも地震によっても土砂災害は発生します。だから地震があつたときなども土砂災害に気を付けたいです。

そして、実際に台風や大雨の時、テレビや

ラジオの情報に気を付けてもうれつな雨にな
る前に市が出す警戒レベル3やレベル4でで
きるだけ早くひなんしたいです。

ふだんの心がけによって、被害を防ぐこと
ができるので、いつも、土砂災害が起こるか
もれないと思っておくことが大切だと思いま
した。